

堺市の生物多様性にふれる冊子

# 堺いさものの通信



ハラビロカマキリ

2023 秋号

サガリハリタケ

# 堺にすむ いきものたち

**生物多様性**とは、単に動物や植物の種類が多いということだけを意味するものではありません。地球上では、様々な環境の中で多様な生き物が食べる・食べられる・共生するなど、お互いにつながりをもって生きています。このように、多様な生き物がお互いにつながりをもって生きていることを生物多様性といいます。

ここでご紹介する写真は、すべて堺市内で撮影された写真です。WEBサイト「堺いきもの情報館」に市民の方などからご投稿いただきました。個性豊かな生き物たちや彼らのすみかを見て・知って、生物多様性を感じてみてください。生物多様性とは身近なものなんですよ！



コマドリ



モズ



ジュウガツザクラ



ナニワトンボ

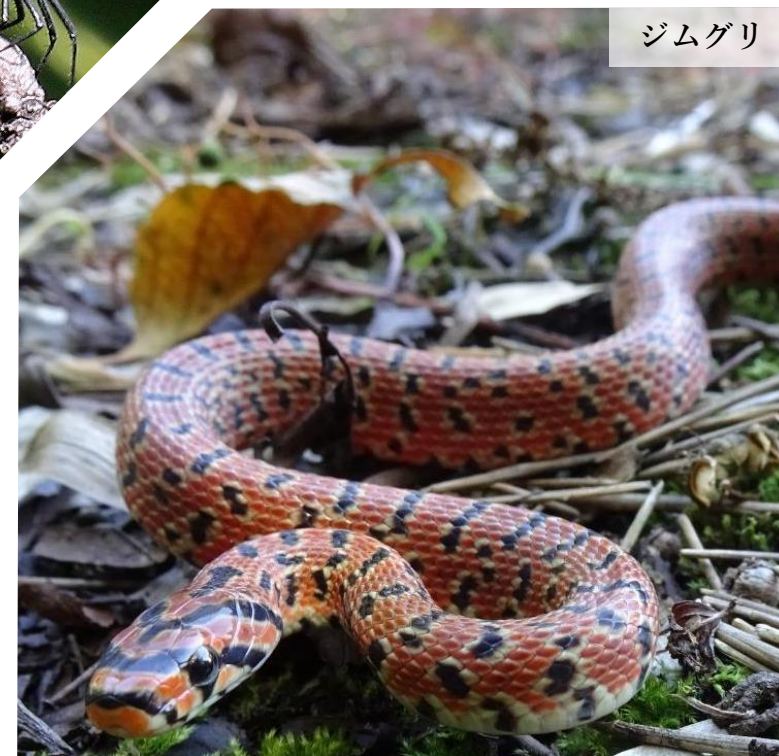


クマスズムシ

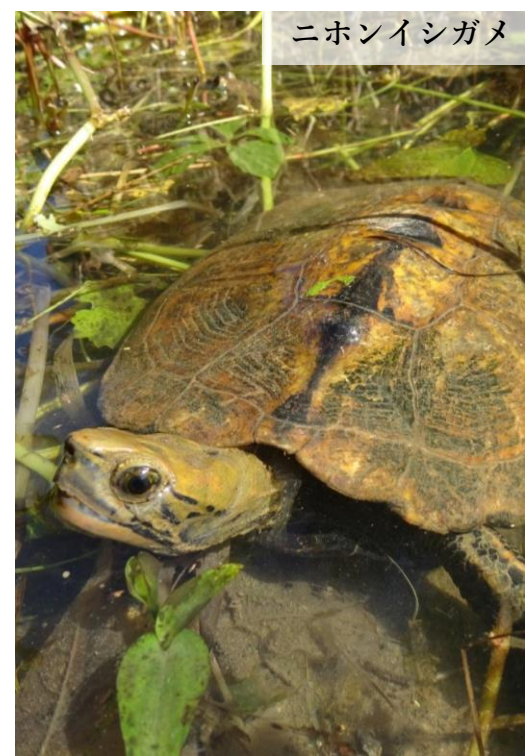


ホングハツサ

エノコログサ



ジムグリ



ニホンイシガメ

# もっと **いき** もの知りになれる！

## 生物多様性のおはなし

- レッドリスト -

皆さんは「レッドリスト」をご存じですか。レッドリストとは絶滅のおそれのある野生生物リストの通称で、1964年に国際自然保護連合（IUCN）が世界の絶滅のおそれのある野生生物をレッドリストとして公表したことが始まりです。

現在、世界の一部の国・地域では、独自にレッドリストを作成しています。多くの野生生物は複数の国や地域に分布しており、地域ごとに種の希少さ、絶滅のおそれが異なるためです。地域でレッドリストを作成することで、その地域内での野生生物の絶滅の危険性をより詳細に明らかにできます。

日本では環境省がレッドリストを作成しているほか、一部の自治体やNGO、学会などでも独自にレッドリストを作成しています。堺市でも「堺市レッドリスト」を2008年に作成し、概ね5年ごとに改訂しています。最新の堺市レッドリスト2021では、市内で確認されている野生生物約6,000種のうち715種が掲載されており、皆さんがよく知る生き物もいます。その一種がアキアカネです。「夕やけ小やけの赤とんぼ♪」から始まる童謡「赤とんぼ」はアキアカネがモデルといわれています。水田にたくさん飛んでいる光景が秋の風物詩でもあったアキアカネは、今や堺市ではレッドリスト掲載種となってしまいました。そのほかにも、水田へ行けば見ることができたトノサマガエルやヘイケボタルといった生き物も同様に掲載されています。

絶滅とは、遠い場所での出来事ではなく、身近な場所でも起こり得るのです。今、皆さんの身近にいる生き物たちも少しずつ生息数を減らし、レッドリストに掲載される日がやってくるかもしれません。まずは絶滅のおそれのある生き物を知り、これ以上危険な状態にならないようにするにはどうしたらよいか考えてみませんか。



〈編集・発行〉

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL : 072-228-7440 / FAX : 072-228-7317

E-mail : kankyo@city.sakai.lg.jp



WEBサイト  
トップページ

ユーザーネーム  
sakai\_ikimono /



Instagram  
アカウント